

# JR東海労なごや

2023年8月22 No1225  
JR 東海 労名古屋地方本部  
発行者： 荻野 隆一  
編集者： 教 宣 部

**安全を脅かし、さらなる労働強化に繋がる  
「業務改革」反対!**

**JR東海労静岡地本・名古屋地本合同会議開催!**

8月19日、名古屋市牧野コミュニティーセンターにおいてJR東海労静岡地本と名古屋地本は、安全を脅かす「業務改革」に抗する合同会議を開催しました。2022年10月31日会社は、①鉄道運営費800



億円を削減する②鉄道事業に従事する社員を11,000人から2500人削減する③東海道新幹線の半自動化や在来線のワンマンの拡大するという「業務改革」を労働組合に一切説明せずプレス発表しました。

合同会議は、座長に静岡地本山本書記長を選出し、冒頭静岡地本半場委員長と本部斎藤副委員長から挨拶を受けました。

基調提起後、現在各職場で発生している問題点を出し合い意見交換を行いました。参加者からは、「ダイヤ改正後に仕事量が増加し運転士・車掌の仕事がきつくなり疲弊度が増し結果事故が増えている」「以前CMCの社員がやっていた仕事を運転士・車掌がやることになり仕事量が増加している」「夜間の汚物処理の対応を乗務員がすることになり睡眠時間が大幅に減った」「車内点検を乗務員がやっているがゴミが散乱しサービス低下になっている」「これ以上のワンマンの拡大は安全上において不安を感じる」などの意見が出されました。在来線同志問題点を共有しそれぞれの地本で具体的に運動を進めることを確認し会議を終了し、その後懇親会を開催し親睦を深めました。

**JR東海労名古屋地本はサービス低下を認めず  
安全確立を求めます**